

科目名	クチュールテクニク制作				
担当教員	中村 恵美子		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、ドレスについての基礎知識 2、素材別の縫製方法や装飾手芸 3、オリジナルレース制作 4、ヘッドドレス制作				
学習目標 (到達目標)	ウェディングドレスで用いられているビーズや刺繍などの装飾手芸のテクニックやレースなど特殊な生地縫製仕様を習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フォーマットドレスについて		前期授業説明、導入、ドレスについて説明		
2	縫い代始末方法①		素材配布、ギャザー、ピントック、三巻、メロー方法		
3	縫い代始末方法②		バイピング、ジグザグ縫い		
4	CCファスナー		CCファスナー配布		
5	糸ループ、布ループ作成①		糸、布配布		
6	糸ループ、布ループ作成②		糸、布配布		
7	くるみ釦、網上げ手法		くるみ釦配布、くるみ用生地準備		
8	コードレース、ピコミシン①		生地準備、配布		
9	コードレース、ピコミシン②		生地準備、配布		
10	オリジナルレース制作①		素材、レース配布		
11	オリジナルレース制作②		素材、レース配布		
12	アートフラワー制作		素材配布		
13	ビーズワーク		ビーズ配布		
14	各部位の補強方法		生地配布		
15	袖山、ボーンの入れ方		ボーン配布		
16	ヘッドドレス製作①		生地、付属準備		
17	ヘッドドレス製作②		手順、仕様方法を考え制作		
18	ヘッドドレス製作③		手順、仕様方法を考え制作		
19	ヘッドドレス製作④		手順、仕様方法を考え制作		
20	ヘッド完成、提出		まとめ作業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ジャケット50%、ビスチェ50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にいう事。		
実務経験教員の経歴	アパレルメーカー6年、ファッション専門学校で教務に28年間関わっていた。				

科目名	クチュールテクニク制作				
担当教員	河村 真美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	企画、デザイン、プレゼンテーション、パターン製作から縫製までを行い、ドレス一体を製作する。				
学習目標 (到達目標)	ウエディングドレスの制作に不可欠なドレーピングテクニックも習得をし、デザイン性の高い製作ができるように技術を養う。素材・ディテールからトレンドを盛り込んだデザインを起こし制作に入る。指示書・仕様書を用いる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ、ビスチェ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画、アイデア出し		必ず一人1つ提案する事。		
2	コンセプト決め		テーマを理解し、コンセプトを決める事。		
3	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
4	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
5	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
6	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
7	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
8	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
9	トワル組		必ず中間チェックをすること。		
10	トワル組		組立て時、縫製をの細かい仕様面も考える事。		
11	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地不足にならないようにマーキング注意する。		
12	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
13	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
14	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
15	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
16	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
17	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
18	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
19	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
20	まとめ、提出		仕上げアイロン特に注意してかける事。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にやる事。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業でソーイングオペレーターを3年半、ファッション専門学校の教員に7年係わっていた。				

科目名	ウェディング制作				
担当教員	河村 真美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	裏付きジャケットとイブニングドレスの縫製を学び、型紙は裏地展開、縫い代付けまで行う。				
学習目標 (到達目標)	ウェディングドレスの制作に不可欠なドレーピングテクニックも習得をし、デザイン性の高い製作ができるように技術を養う。素材・ディテールからトレンドを盛り込んだデザインを起こし制作に入る。指示書・仕様書を用いる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、スカート・ワンピース				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	裏付きジャケット講義、基本パターン配布		ジャケット・ベストP60, 61		
2	2ndパターン製作、マーキング		ジャケット・ベスト教科書使用		
3	ジャケット製作(裁断、芯貼り、ロック、パーツ作り)		P62~69、P73、P74~77		
4	ジャケット製作(袖ベンツ、肩脇入れ)		P153~158		
5	ジャケット製作(袖ベンツ、肩脇入れ)		P153~158		
6	ジャケット製作(裏地パーツ作り、身頃合わせ、衿付け)		P78~80、P81		
7	ジャケット製作(裏地パーツ作り、身頃合わせ、衿付け)		P78~80、P81		
8	ジャケット製作(後ベンツ、袖付け)		P153~158		
9	ジャケット製作(後ベンツ、袖付け)		P153~158		
10	ジャケット製作(とじ、ホール、釦付け)		P91		
11	まとめ、提出		P91		
12	イブニングドレス講義、採寸、ドレーピング		プリント配布		
13	採寸、ドレーピング		採寸する時は平行に正しく採寸する。		
14	2ndパターン制作、裁断		生地選び、ボーン配布		
15	製作①(芯貼り)		事前に裁断を終わらせておく。		
16	製作②(パーツ作り)		各所アイロンは丁寧にしっかりとかけておく。		
17	製作③(合わせ)		針折れに注意する。		
18	製作④(手作業)		縫い外れに注意する。		
19	製作⑤(ファスナー付け)		縫い外れに注意する。		
20	まとめ、提出		アイロン時にアタリ注意する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ジャケット50%、イブニングドレス50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧に行う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業でソーイングオペレーターを3年半、ファッション専門学校の教員に7年係わっていた。				

科目名	ウェディング制作				
担当教員	河村 真美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	企画、デザイン、プレゼンテーション、パターン製作から縫製までを行い、ドレス一体を製作する。				
学習目標 (到達目標)	ウェディングドレスの制作に不可欠なドレーピングテクニックも習得をし、デザイン性の高い製作ができるように技術を養う。素材・ディテールからトレンドを盛り込んだデザインを起こし制作に入る。指示書・仕様書を用いる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ、ビスチェ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画、アイデア出し		必ず一人1つ提案する事。		
2	コンセプト決め		テーマを理解し、コンセプトを決める事。		
3	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
4	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
5	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
6	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
7	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
8	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
9	トワル組		必ず中間チェックをすること。		
10	トワル組		組立て時、縫製をの細かい仕様面も考える事。		
11	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地不足にならないようにマーキング注意する。		
12	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
13	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
14	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
15	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
16	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
17	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
18	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
19	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
20	まとめ、提出		仕上げアイロン特に注意してかける事。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧に扱う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業でソーイングオペレーターを3年半、ファッション専門学校の教員に7年係わっていた。				

科目名	アパレルデザインII				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上				
学習目標 (到達目標)	デザインの発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティを高める。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	2時間で模写 写真から模写し描く着彩		1年次の復習。おさらい。		
2	メンズ・子供服		メンズと子供服について		
3	D画 発想 ジャポニズム		日本からの発想。コラージュしたものを基にデザイン画を描く		
4	D画 発想 絵画からの発想と着彩		絵画をモチーフにし絵画の色を使い着彩。着彩の幅を広げる		
5	D画 発想 デニム		素材の表現。デニム素材を使用したD画。必ずデニムを表現する。		
6	D画 発想 映画からのデザイン		様々な年代の映画衣装を参考にし映画の登場人物の衣装をデザインする。		
7	D画 発想 企業用のD画 トレンド		春夏トレンドのマップをコラージュで作成デザインソースを作る		
8	D画 発想 企業用のD画 トレンド		春夏トレンドのマップを基に企業・就職活動用のD画を描く。		
9	D画 発想 民族衣装		世界の民族衣装をモチーフにコラージュを作成しD画を描く		
10	D画 発想 ミリタリー		ミリタリーをテーマにコラージュを作成しD画を描く		
11	D画 発想 建築物		建築物の外観や作りなどを参考に洋服のデザインに落とし込む		
12	D画 発想 ドレープ		ドレープを利用したデザインを考え作成する		
13	D画 発想 構造		世の中の様々な構造からアイデアを発送しデザインする。		
14	D画 発想 自然		自然界にある植物や動物昆虫など自然界の中にあるモチーフを決めデザインする		
15	D画 発想 アート		様々なアートの手法をモチーフに洋服のデザインに落とし込む。D画にして表現		
16	デザイン画 着彩指導 水彩1		水彩着彩の復習1		
17	デザイン画 着彩指導 水彩2		水彩着彩の復習2		
18	仕上げ方法・コラージュの方法1		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
19	仕上げ方法・コラージュの方法2		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
20	仕上げ方法・コラージュの方法3		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	教員歴21年				

科目名	アパレルデザインII				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上 4. 素材をデザイン画に落とし込む				
学習目標 (到達目標)	デザインの発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティーを高める。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	素材を作る1 (スラッシュキルト)		スラッシュキルトを作成してみる		
2	素材を使用したデザイン画1		スラッシュキルトを使用したデザイン画を描く		
3	素材を作る2 (フェルトを作る)		原毛からフェルトを作ってみる		
4	素材を使用したデザイン画2		フェルトを使いデザインしてみる		
5	素材を作る3 (タックを作る)		タックを使用し様々な素材を作る		
6	素材を使用したデザイン画3		タックを使用しデザイン画を描いてみる		
7	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り1		A/Wのトレンドを作成		
8	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り2		テキスタイルマップ・カラーマップ作り		
9	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り3		カラーマップ作りデザイン出し		
10	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
11	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
12	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
13	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
14	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
15	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
16	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
17	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
18	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
19	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
20	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	教員歴21年				

科目名	パターン II				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、コート製図 2、コートバリエーション、裏地展開 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CADパターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、コート・ケープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ストレートシルエットコート作図		コート・ケープP21～24		
2	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
3	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
4	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
5	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
6	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31実寸		
7	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
8	ルダングト作図		コート・ケープP32～34		
9	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
10	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
11	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
12	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
13	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
14	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
15	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
16	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
17	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
18	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
19	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	パターン II				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、各アイテムバリエーション製図 2、2ndパターン、工業用パターンの習得 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CADパターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、オリジナル絵型プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習		作図指示(前期作図した中から)		
2	ジャケット作図		ジャケット・ベストP24～27		
3	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
4	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
5	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
6	裏地展開方法(衿、袖裏)		ジャケット・ベストP58～61		
7	裏地展開方法(衿、袖裏)		ジャケット・ベストP58～61		
8	裏地展開方法(衿、袖裏)		ジャケット・ベストP58～61		
9	マーキング説明(無地、柄)		ジャケット・ベストP62～66		
10	マーキング説明(無地、柄)		ジャケット・ベストP62～66		
11	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
12	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
13	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
14	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
15	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
16	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
17	オリジナルデザイン作図		各自ハンガーイラスト作成		
18	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
19	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名		CAD II			
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS製のCREA COMPO II Pattern Magic II使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イントロダクション		講義 ファッション企業におけるアパレルCADの使われ方。CAD IIの学習方法など解説する。		
2	課題1.Aラインスカート各プリーツ作成1		実習(スカート原型から作成) 配布プリント 課題1のP1～P5		
3	課題1.Aラインスカート各プリーツ作成2		実習(スカート原型から作成) 配布プリント 課題1のP6～P9		
4	課題2.Aラインスカート工業パターン作成1		実習(デザインパターンから作成) 配布プリント 課題2のP1～P7		
5	課題2.Aラインスカート工業パターン作成1		実習(デザインパターンから作成) 配布プリント 課題2のP1～P7		
6	課題2.Aラインスカート工業パターン作成2		実習(デザインパターンから作成) 配布プリント 課題2のP8～P11		
7	課題2.Aラインスカート工業パターン作成2		実習(デザインパターンから作成) 配布プリント 課題2のP8～P11		
8	課題2.Aラインスカート工業パターン作成2		実習(デザインパターンから作成) 配布プリント 課題2のP8～P11		
9	課題3.シャツの身頃作成		実習(シャツ原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P5		
10	課題3.シャツの身頃作成		実習(シャツ原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P5		
11	課題4.シャツの袖作成1		実習(シャツ袖原型から作成) 配布プリント 課題4のP1～P3		
12	課題4.シャツの袖作成1		実習(シャツ袖原型から作成) 配布プリント 課題4のP1～P3		
13	課題4.シャツの袖作成2		実習(シャツ袖原型から作成) 配布プリント 課題4のP4～P7		
14	課題4.シャツの袖作成2		実習(シャツ袖原型から作成) 配布プリント 課題4のP4～P7		
15	課題5.シャツの前立て釦裾カット作成		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP1～P6		
16	課題5.シャツの前立て釦裾カット作成		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP1～P6		
17	課題6.シャツの襟、ポケット作成1		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP1～P3		
18	課題6.シャツの襟、ポケット作成1		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP1～P3		
19	課題6.シャツの襟、ポケット作成2		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP4～P7		
20	課題6.シャツの襟、ポケット作成2		実習(シャツ身頃から作成) 配布プリント 課題4のP4～P7		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アパレルCAD Iで学んだことをしっかりと復習して実習に臨むこと。 CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	C A D II				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS製のCREA COMPO II Pattern Magic II使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	課題7.シャツの工業パターン作成1		実習(シャツデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1~P4		
2	課題7.シャツの工業パターン作成2		実習(シャツデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5~P7		
3	課題7.シャツの工業パターン作成3		実習(シャツデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP8~P10		
4	課題7.シャツの工業パターン作成4		実習(シャツデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP11~P14		
5	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成1		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P1~P5		
6	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成2		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P6~P9		
7	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成2		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P6~P9		
8	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成3		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P10~P13		
9	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成3		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P10~P13		
10	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成4		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P14~P18		
11	課題8.ローウエスト切替ワンピースパターン作成4		実習(ワンピース原型から作成) 配布プリント 課題8の P14~P18		
12	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成1		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP1~P7		
13	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成1		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP1~P7		
14	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成2		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP8~P14		
15	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成2		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP8~P14		
16	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成3		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP15~P21		
17	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成3		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP15~P21		
18	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成4		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP22~P27		
19	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成4		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP22~P27		
20	課題9.2面ジャケットの工業パターン作成4		実習(2面ジャケットデザインパターンから作成) 配布ブ プリント 課題9のP22~P27		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とす る。			アパレルCAD I で学んだことをしっかりと復習して実習に臨むこ と。 CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないこと がある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	ドレーピング I				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入、ライン入れ、ボディ採寸	P10～40			
2	地直し	P41			
3	地直しテスト	P41			
4	ピンの打ち方、原形ドレーピング	P38			
5	ピンの打ち方、原形ドレーピング	P38			
6	ドラフティング	P46			
7	ドラフティング	P46			
8	ドラフティング	P46			
9	ドラフティング、生地準備	地直し注意			
10	シャツカラー	P79			
11	シャツカラー	P79			
12	シャツカラー	P79			
13	袖付け方	P81			
14	袖付け方	P81			
15	袖付け方	P81			
16	生地準備	地直し注意			
17	フレアスカート	P106～123			
18	フレアスカート	P106～123			
19	フレアスカート	P106～123			
20	スカートまとめ	ボディに着せ付け提出			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。			
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	ドレーピングⅠ				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーラードジャケットA作図、身頃		P179～191		
2	テーラードジャケットA作図、袖		P179～191		
3	テーラードジャケットA作図、衿		P179～191		
4	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
5	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
6	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
7	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
8	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
9	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
10	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
11	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
12	テーラードジャケットB作図、袖		P200～208		
13	テーラードジャケットB作図、衿		P200～208		
14	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
15	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
16	テーラードジャケットB作図、組立て		P200～208		
17	テーラードジャケットB作図、作図展開		P200～208		
18	提出、生地準備		地直し注意		
19	ジャケットテスト		AかBを出題		
20	まとめ		トワルに着せ付け提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	英会話				
担当教員	マッテア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	紹介① 友達などの紹介のしかた	プリント1			
2	紹介② 性格と主張	プリント2			
3	紹介	ワークシート1 (紹介)			
4	単数、複数	プリント3			
5	単数、複数	ワークシート2 (単数)、会話			
6	単数、複数	ワークシート2 (複数)、会話			
7	衣服① 名称、色	プリント4			
8	衣服① 名称、色	ワークシート3 (衣服の名称)			
9	衣服① 名称、色	ワークシート4 (衣服の名称)			
10	衣服② 動詞、形容詞	プリント5			
11	衣服② 動詞、形容詞	ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)			
12	衣服② 動詞、形容詞	ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)			
13	衣服③ 形容詞	プリント6、会話			
14	衣服③ 形容詞	プリント7			
15	衣服③ 形容詞	プリント8			
16	衣服③ 形容詞	文章作成			
17	衣服③ 形容詞	復習、会話			
18	復習	ワークシート7			
19	復習	ワークシート8			
20	まとめ	前期まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。			
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	英会話				
担当教員	マッテア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	前置詞	プリント9、リスニング			
2	前置詞	プリント9、会話			
3	前置詞	ワークシート9 (文章作成)			
4	前置詞	ワークシート10			
5	前置詞	ワークシート11 (文章作成)			
6	服のお直しのための英語	プリント10、会話			
7	服のお直しのための英語	ワークシート12			
8	服のお直しのための英語	ワークシート12 (文章作成)			
9	服を販売するときの英語	ワークシート13 (会話)			
10	服を販売するときの英語	プリント11			
11	服を販売するときの英語	ワークシート13 (文章作成)			
12	裁縫道具等の英語	プリント12			
13	裁縫道具等の英語	プリント12 (会話)			
14	裁縫道具等の英語	ワークシート14 (文章作成)			
15	復習	ワークシート15			
16	復習	ワークシート16			
17	総復習	ワークシート1~8			
18	総復習	ワークシート9~16			
19	まとめ	後期まとめ			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。			
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/11)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	検定意識付け				
2	理論	PM技術検定試験3級ガイドブックP24～57			
3	理論	PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75			
4	理論	PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75			
5	理論(身頃)	PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99			
6	理論(身頃)	PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99			
7	理論(袖)	PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109			
8	理論(袖)	PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109			
9	理論(スカート)	PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119			
10	理論(スカート)	PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119			
11	理論(工業用)	PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183			
12	理論(工業用)	PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183			
13	理論(縫い代)	PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197			
14	理論(縫い代)	PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197			
15	理論(グレーディング)	PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251			
16	理論(グレーディング)	PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251			
17	理論テスト	プリント配布			
18	理論テスト	プリント配布			
19	理論テスト	プリント配布			
20	理論テスト	プリント配布			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業内課題40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		繰り返し問題を解き、復習をしっかりとしておく。			
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/11)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	作図①		過去問題①配布		
2	作図①、生地準備		過去問題①配布		
3	実技①		トワルに着せ付け提出		
4	作図②		過去問題②配布		
5	作図②、生地準備		過去問題②配布		
6	実技②		トワルに着せ付け提出		
7	作図①		模擬テスト①		
8	実技①		トワルに着せ付け提出		
9	作図②		模擬テスト②		
10	実技②		トワルに着せ付け提出		
11	実技①		トワルに着せ付け提出		
12	生地準備		しっかりときちんと準備する。		
13	生産管理について講義		プリント配布		
14	仕様書作成(シャツA)		仕様書配布		
15	仕様書作成(パンツA)		仕様書配布		
16	仕様書作成(ジャケットA)		仕様書配布		
17	仕様書作成(シャツB)		仕様書配布		
18	仕様書作成(パンツB)		仕様書配布		
19	仕様書作成(ジャケットA)		仕様書配布		
20	仕様書作成(オリジナル)		仕様書配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			事前準備をしっかりと行うこと。特に生地準備は丁寧に、きちんと地直しをしておくこと。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	×	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	×	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	卒業制作				
担当教員	河村 真美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	企画、デザイン、プレゼンテーション、パターン製作から縫製までを行い、ドレス一体を製作する。				
学習目標 (到達目標)	ウェディングドレスの制作に不可欠なドレーピングテクニックも習得をし、デザイン性の高い製作ができるように技術を養う。素材・ディテールからトレンドを盛り込んだデザインを起こし制作に入る。指示書・仕様書を用いる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ、ビスチェ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画、アイデア出し		必ず一人1つ提案する事。		
2	コンセプト決め		テーマを理解し、コンセプトを決める事。		
3	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
4	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
5	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
6	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
7	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
8	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
9	トワル組		必ず中間チェックをすること。		
10	トワル組		組立て時、縫製をの細かい仕様面も考える事。		
11	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地不足にならないようにマーキング注意する。		
12	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
13	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
14	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
15	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
16	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
17	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
18	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
19	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
20	まとめ、提出		仕上げアイロン特に注意してかける事。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にを行う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業でソーイングオペレーターを3年半、ファッション専門学校の教員に7年係わっていた。				

科目名	卒業制作				
担当教員	河村 真美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	企画、デザイン、プレゼンテーション、パターン製作から縫製までを行い、ドレス一体を製作する。				
学習目標 (到達目標)	ウェディングドレスの制作に不可欠なドレーピングテクニックも習得をし、デザイン性の高い製作ができるように技術を養う。素材・ディテールからトレンドを盛り込んだデザインを起こし制作に入る。指示書・仕様書を用いる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ、ビスチェ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画、アイデア出し		必ず一人1つ提案する事。		
2	コンセプト決め		テーマを理解し、コンセプトを決める事。		
3	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
4	グループ別パワーポイント作成		役割を決めスムーズに作成する事。		
5	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
6	デザイン画、素材探し		出来るだけ多くのデータ、素材、画像を集める事。		
7	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
8	トワル組		シーチング、似寄り生地で組立て		
9	トワル組		必ず中間チェックをすること。		
10	トワル組		組立て時、縫製をの細かい仕様面も考える事。		
11	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地不足にならないようにマーキング注意する。		
12	モデル採寸、パターン修正、用尺出し		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
13	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
14	裁断、芯貼り		生地の素材に合わせてアイロン注意する。		
15	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
16	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
17	パーツ作り		寸法、ステッチ、運真数、ツレ、中間アイロンに注意		
18	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
19	組立て		組立ての順序よく考えて縫製していく。		
20	まとめ、提出		仕上げアイロン特に注意してかける事。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧に扱う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業でソーイングオペレーターを3年半、ファッション専門学校の教員に7年係わっていた。				